

平成30年度

刈谷市組織重点目標（実績・成果）

目 次

企画財政部	1
総務部	3
生活安全部	5
市民活動部	8
福祉健康部	11
次世代育成部	14
産業環境部	16
建設部	19
都市政策部	21
水資源部	24
教育部	26

平成30年度組織重点目標（実績・成果）

企画財政部 平成30年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
効果的かつ効率的な行政経営に努め、市民サービスの充実を図ります。	①新たなまちづくりの指針となる第8次総合計画の策定に向けた取組を推進します。	企画政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査の実施 ・施策評価の実施 ・職員プロジェクトチームの開催 全体会 2回 分野別部会 各5回 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画策定前の基礎調査として、各種調査等を実施し、職員プロジェクトチームにおいて、まちづくりの課題や方向性について整理することができた。
	②市公式のスマホ向けのアプリを導入し、さまざまな情報を発信するサービスを提供します。	広報広聴課	<ul style="list-style-type: none"> ・ダウンロード数 6,208件 	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷市内外を問わず多くの人に対し、積極的に情報発信をすることができた。
	③大規模改造工事に合わせて、バリアフリー対応の充実を図ります。	施設保全課	<ul style="list-style-type: none"> ・便所洋式化、手摺設置等のバリアフリー化の実施 4施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・便器の洋式化、手摺の設置等のバリアフリー化を図ることができた。
	④児童、生徒に建築現場の状況が判る図面等を学校に掲示します。	施設保全課	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校等に掲示する現場件数 3件 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒や保護者等にもものづくりに対する関心を持ってもらい、事業に対する理解・協力を得ることができた。
業務における法令順守を徹底します。	①情報セキュリティリスクに対し、情報資産の適正管理を推進し、情報セキュリティの更なる強化を図ります。	情報システム課	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ対策の向上を図るためネットワーク機器を更新 ・マイナンバー系ネットワークにおけるファイルサーバ及び資産管理システムの本運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークの完全冗長化及び未知のマルウェア対策の強化により、高度なセキュリティ対策を施すことができた。 ・ファイルサーバ及び資産管理システムの本運用により、情報セキュリティを強化することができた。

(2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
健全財政の堅持と行政運営の透明性に努めます。	①財務諸表における行政コスト計算書の他自治体との比較を検討します。	財務課	<ul style="list-style-type: none"> ・西三河9市の行政コスト計算書の比較を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・西三河9市における平成29年度決算では、人件費や物件費等の具体的な費用構成を視覚化することで、同様の行政活動が行われていることが判明した。
	②公有財産を有効活用し、新たな財源の確保に努めます。	財務課	<ul style="list-style-type: none"> ・未活用市有地の売却 1件 	<ul style="list-style-type: none"> ・未活用市有地の売却により新たな財源を確保することができた。
	③公共施設等の維持管理・更新の総合的な管理を推進する中で、建物の維持保全計画を遂行します。	施設保全課	<ul style="list-style-type: none"> ・劣化度状況等に係る現地調査実施施設数 62施設 ・構造体耐久性調査実施施設数 18棟 	<ul style="list-style-type: none"> ・劣化状況等を的確に把握し、適切な改修等を行うことにより長寿命化を図ることができた。

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
本市の活力・魅力につながる施策を推進します。	①まちなかマネジメント構想に基づいて策定した整備方針「中心市街地まちづくり基本計画」に沿って、亀城公園周辺整備の事業案を検討します。	企画政策課	<ul style="list-style-type: none"> 関係部署との検討会議の開催 7回 事業計画案の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 関係部署との協議・調整により亀城公園周辺整備の事業計画案を策定することができた。
	②「かつなりくん」および公式SNS等を活用し、積極的に刈谷市をPRします。	広報広聴課	<ul style="list-style-type: none"> 公式SNS等のフォロワー数 3,283人 かつなりくんLINEスタンプダウンロード件数 125件 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな情報をフォロワーに提供することで、本市の魅力を適宜伝えることができた。 キャラクターへの愛着を持ってもらうことで、市の魅力のアピールにつながった。

(5) 最少コストで最大サービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
コストの縮減・事務の効率化を図ります。	①仮想化技術を活用し、情報システムの有効活用を図ります。	情報システム課	<ul style="list-style-type: none"> 業務システムサーバの統合・集約化 国民健康保険システム 3台 	<ul style="list-style-type: none"> 計3台の業務システムサーバの統合・集約化を行い情報システムの有効活用をすることができた。

総務部 平成30年度組織重点目標（実績・成果）

(1)市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
災害、犯罪等から市民の安全を確保します。	①火災や地震発生時に来庁者や職員の安全を確保するための消防等訓練を実施します。 ②暴漢等の脅威から来庁者や職員の安全を確保するための防犯講習を実施します。	総務文書課 総務文書課	・避難訓練の実施 ・消火訓練の実施 1回 18人 ・救急救命講習の実施 1回 17人 ・防犯講習の実施 1回 75人	・想定した出火場所付近の消防設備等を作動させるなど、実践的な避難訓練を実施するとともに、地震に伴う火災を想定した初期消火訓練及び消防署員による心肺蘇生の方法などの救急救命講習を実施した。 ・現役警察官を講師に招き、警杖等の防犯器具を使用し、実践的な講習を実施した。
適正な職員配置により、効果的かつ効率的な行政経営に努めます。	①臨時・非常勤職員任用の制度改正に向けた対応を進めます。 ②長時間労働を是正し、適材適所の人員配置を進めます。	人事課 人事課	・庁内及び各園長に対する新制度の概要及び実施スケジュール等説明会の実施 ・1か月に60時間を超える長時間勤務者数 延386人 (前年度比46人減)	・職の整理、業務ごとの任用方法、職務内容の検討を行い、全庁的な制度の周知及び課題の共有ができた。 ・時間外勤務を縮減し、長時間労働の是正に寄与できた。
市民への情報提供等により、行政運営の透明性の確保に努めます。	①税制改正等の情報を適切な時期に提供します。 ②インターネット公売、コンビニ収納、口座振替、滞納抑制の情報提供を実施します。 ③第三者により入札、契約制度の審議を行い、公平性、透明性を確保します。	税務課 納税課 契約検査課	・情報提供回数25回（ホームページ情報掲載13回、市民だより記事掲載12回） ・情報提供回数27回（ホームページ情報掲載2回、市民だより記事掲載14回、キャッチネットワーク文字情報案内11回） ・入札監視委員会 開催数 3回 ・総合評価審査委員会 開催数 1回	・ホームページ及び市民だよりを積極的に活用することにより、必要な情報を適切かつ分かりやすい形で、市民に提供することができた。 ・納期のお知らせ、口座振替を推進する記事を掲載し、納期内納付を促すとともに、滞納処分の情報提供をし、収納率向上に努めることができた。 ・第三者が参加する入札監視委員会及び総合評価審査委員会を開催し、入札、契約制度の公平性、透明性の向上に努めることができた。

(2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
経費の削減に努め、公平な市税の賦課徴収を行います。	①税関係の情報交換会議により部署間連携の強化及び対応スピードの向上を図ります。	税務課	・情報交換会議の実施 2回	・納税課、国保年金課と情報交換を行うことにより、業務の効率化及び情報共有を図ることができた。
	②収納率の向上を図ります。	納税課	・現年度分収納率 99.5% ・滞納繰越分収納率 37.8% ・地方税滞納整理機構引継分収納率 60.7%	・電話による納付催告、市税未納者への自宅訪問を中心に滞納整理を行い、滞納の早期解消に努め、収納率を維持することができた。 ・納税折衝や滞納処分を適切に行い、滞納繰越分収納率37.8%を達成することができた。 ・西三河地方税滞納整理機構と連携し、適切な滞納整理を行い、目標とする収納率を達成することができた。

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
地域に共通の課題に取り組むために、必要な知識の習得と情報共有に努めます。	①職員交流の促進と効率的な研修の実施のため、関係市町と職員研修を合同開催します。	人事課	・合同職員研修の実施 5研修	・組織の活性化、キャリア形成等の共通の課題に対する見識を高め、職員の交流を図ることができた。

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
男女共同参画社会の実現に努めます。	①附属機関等への女性委員の参加を促進します。	総務文書課	・女性委員の割合 29.9%	・各課等へのヒアリングにおいて選出母体となる団体への協力の依頼等を促し、女性委員の割合を前年度に比べて3ポイント増やすことができた。

(6) 創造性豊かで、柔軟な発想と行動ができる職員を育てる市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
職員の意欲を高め、創造力を発揮しやすい環境づくりに努めます。	①ワーク・ライフ・バランスを推進し、働きやすい職場環境づくりを推進します。	人事課	・メンター制度の実施 76組 (男性14組、女性62組) ・女性職員の活躍に資する研修の実施 6研修 ・イクボス研修の実施 1回	・職員のキャリア形成、職場コミュニケーションの活性化、及び女性職員の育児休業からの円滑な復帰に寄与した。

生活安全部 平成30年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
防災体制の構築を進めます。	①地域の防災活動を支援し、地域防災体制の充実強化を図ります。	危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の自主防災訓練への職員の派遣 26回 ・自主防災事業補助金による支援 23地区 ・自主防災推進会議の開催 2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会の防災訓練等の支援を行うことで、自主防災会の育成を図ることができた。 ・自主防災会へ補助金を交付し、資機材等を配備することで防災力の強化を図ることができた。 ・自主防災推進会議の開催により、自主防災会同士の横の連携を深め、市全体として地域防災力の強化を図ることができた。
	②消防団の防災活動を支援し、消防力の強化を図ります。	危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・組立式簡易水槽の整備 7個分団 ・消防団員用のクレジットカード発行環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・組立式簡易水槽を配備することにより、消防団の消防力の強化を図ることができた。 ・消防団員用のクレジットカードを発行できる環境を整備することで、福利厚生の実現を図ることができた。
	③災害時に迅速に対応できる体制の整備を図ります。	危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時職員行動マニュアルの検証及び見直し ・避難所運営マニュアル、受援計画の策定 ・津波避難計画の策定 ・職員を対象とした情報伝達等訓練の実施 3回 ・総合防災訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時職員行動マニュアルの見直しに向けて、検証を行い現状の問題点を明確にすることができた。 ・各種計画の策定に向けて、素案を作成することができた。 ・メール返信訓練の実施により、災害時の職員の情報伝達手段等の確認をすることができた。 ・総合防災訓練の実施により、防災関係機関との連携強化を図ることができた。
	④災害時の緊急情報について、迅速な情報伝達の仕組みの整備を図ります。	危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・防災ラジオの販売 347台 ・公共施設へのJアラートの接続 2箇所 ・公共施設への緊急地震速報の接続 2箇所 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災ラジオを販売することで、市民への緊急情報伝達手段を確保することができた。 ・公共施設へJアラート等を整備することで、来館者への緊急情報伝達手段を確保することができた。
	⑤地震・風水害発災後の市民生活の支援体制の整備を図ります。	危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄品の更新及び追加購入 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄品の更新及び追加を行うことで、災害に対する備えを強化することができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
防災体制の構築を進めます。	⑥市民の防災意識の高揚を図るとともに、避難支援設備の整備を図ります。	危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講演会の開催 1回 ・避難所看板の更新 12避難所 ・防災医療タウンページの発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講演会の開催により、市民の防災意識の高揚を図ることができた。 ・避難所看板の更新により、市民が安全に避難できる環境を整備することができた。 ・防災医療タウンページを発行し、市内全世帯に配布することで、市民の防災意識の高揚を図ることができた。
安心安全の確保されたまちづくりを進めます。	<p>①地域の犯罪発生抑止等安全確保のため設備を整備します。</p> <p>②地域の夜間防犯活動を促進します。</p> <p>③交通事故の防止効果が高い啓発活動を推進します。</p> <p>④交通安全意識の高揚に努めます。</p>	<p>くらし安心課</p> <p>くらし安心課</p> <p>くらし安心課</p> <p>くらし安心課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・街頭防犯カメラの設置 235基 ・防犯灯の設置 80基 ・犯罪件数の多い地区に防犯カメラ設置を表示する看板等を設置 ・深夜における青パトの委託巡回の実施 毎日6台 ・歩行者保護に加え、高齢者保護のモデルカー活動の実施 ・集客力の多いイベントでの啓発の実施（Bリーグ、わんさか祭り、産業まつり等） ・交通安全教室の開催 175回 ・小学校の給食時間を活用した啓発の実施 6校 	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪発生を抑止につなげることができた。 ・犯罪発生を抑止につなげることができた。 ・歩行者保護、高齢者保護に対する意識を高めることができた。 ・市民の交通安全への意識を高めることができた。
安心して暮らせるまちづくりを進めます。	①特殊詐欺防止のための対策を推進します。	くらし安心課	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のいる世帯へ不審電話防止装置（自動通話録音装置）を販売 123台 ・1月に対象者条件を拡大（65歳以上の独居又は高齢者世帯⇒65歳以上の高齢者） 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を狙った電話による特殊詐欺や悪質商法の被害防止を図るとともに、販売広報活動を通じ特殊詐欺に対する防犯意識を高めることができた。

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
<p>市民と行政が連携協働した災害への備えを推進します。</p>	<p>①地域の自主防災組織等で活躍できる人材育成を進めます。</p>	<p>危機管理課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災リーダー養成講座修了者 74人 ・災害ボランティアコーディネーター養成講座修了者 26人 ・防災リーダーフォローアップ等講座受講者 172人 	<p>・各講座の実施により、地域で防災活動を行う人材を育成することができた。</p>

市民活動部 平成30年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
窓口サービスや観光案内所を通して、市民の満足度を高めます。	①市民目線に立った、より分かりやすく、利用しやすい窓口サービスを提供します。	市民課	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで分かりやすく情報提供 ・番号案内表示板の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に関わりの深い届出・証明のページ等を、分かりやすい内容に更新することで、円滑な窓口対応ができるようになった。 ・番号案内表示板の設置に向け検討した。
	②青山斎園予約システムを導入します。	市民課	<ul style="list-style-type: none"> ・青山斎園予約システムを開発し、運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・システム導入により帳票作成や集計作業が短縮され、円滑に管理できるようになった。
	③観光案内所の本設置に向けた検討を行います。	文化観光課	<ul style="list-style-type: none"> ・関係課と駅前における観光案内所の在り方等を検討した。 ・機能等の調査を委託し、整備コンセプト等について整理した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係課と駅前の活性化方策について一定の方向性を共有でき、取組を推進できた。

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
郷土愛を育むとともに、まちの魅力を高めます。	①本市の歴史や文化、芸術等に関する施策を推進し、積極的に発信することで、刈谷市の魅力の向上を図ります。	文化観光課	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外でのイベントにおけるPRブースの設置 11回 ・ゆかりの市町村との交流事業の実施 2回(東吉野村史跡めぐり、刈谷市史跡めぐり) ・歴史博物館の開館 開館日来場者数 3,075人 ・郷土資料館でのイベントの開催 26回 ・開館記念企画展の開催 (仮称) 水野勝成展 (平成30年度・8日間) ・美術館における企画展(3回)、常設展(4回)の実施 計7回 ・美術館における教育普及活動の実施 13回 	<ul style="list-style-type: none"> ・PRキャラクターを活用し、市内外へ本市の魅力を発信した。 ・奈良県東吉野村と天誅組関連史跡を巡り互いの交流を深めることができた。 ・刈谷の歴史に親しみ、見て、触れて体験して学ぶことができる施設として3月24日に開館し、多数の来館者を得た。 ・本市の歴史を身近に感じる機会を提供したことで、市民の興味関心を高めることができた。 ・開館記念として初代刈谷藩主水野勝成展を開催し、市民が本物の資料に触れる機会を提供した。 ・美術に対する理解、親しみを深める機会を提供したことで、市民の創造力を育むことができた。 ・企画展関連ワークショップ等を行うことで次代を担う子どもの想像力や創造力の育成を図ることができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
郷土愛を育むとともに、まちの魅力を高めま す。	②観光事業を総合的・計画的に推進するとともに、近隣市町等と連携して地域資源の活用を図ります。	文化観光課	・観光協会開催催事 来場者数 386,365人 (万燈祭新築 台風により中止) ・定住自立圏共生ビジョン等に基づくウォーキングイベントの実施 1回	・観光協会事業へ支援し、市内での各催事において賑わいを創出することに寄与できた。 ・圏域内の観光スポット等にてブース出展し、圏域の魅力を啓発と再発見を促す機会を提供でき、郷土愛の醸成に寄与できた。

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
男女が共に支えあえるまちづくりを進めます。	①男女共同参画を啓発するイベント、講座を開催するとともに、日本女性会議開催に向けた準備を進めます。 ②働く女性の活躍を促進します。	市民協働課 市民協働課	・啓発イベント、講座の開催 参加人数267人 (イベント一部台風により中止) ・(仮称)男女共同参画推進条例案の検討 ・日本女性会議2020あいち刈谷実行委員会の設置 ・ワークショップの開催 参加人数137人 ・女性活躍推進イベントの開催 参加人数 158人	・イベントを通じて多くの市民に、意識啓発のきっかけづくりを行うことができた。 ・本市に相応しい条例案の検等ができた。 ・実行委員会を設置し女性会議開催に向けたPRや準備を進めることができた。 ・ワークショップを開催し女性会議に向けた気運の醸成や課題の抽出ができた。 ・高校生や大学生へ活躍する女性のロールモデルを示し、キャリアデザインの意識啓発を行うことができた。
国際化・多文化共生を推進します。	①国際化・多文化共生を推進するためのプロジェクトに取り組みます。	市民協働課	・学校等における実践的な国際理解プログラムの実施 9プログラム ・一ツ木地区における多文化共生プロジェクトの運営支援 イベント参加外国人 143人	・主に学校現場において、国際理解を育むプログラムを実施し、楽しみながら外国の文化や課題を学ぶ機会が提供できた。 ・他地域へ展開するための一ツ木地区における多文化共生プロジェクトの基盤整備ができた。
共存・協働のまちづくりを進める仕組みを充実します。	①「かりや夢ファンド」の積極的な活用を促し、まちづくり活動を支援します。	市民協働課	・夢ファンド補助金 採択額 935,000円	・6団体から申請があり、まちづくり活動を支援することができた。
市民や関連団体と連携して、地方創生を推進します。	①元気な地域応援交付金制度の活用を通して、地域活力の向上を図ります。 ②関連団体と連携し、結婚に向けた交流機会を提供します。	市民協働課 市民協働課	・申請地区数 4地区 (新規1地区) ・交流イベントへの支援 イベント開催 4回 (ア)ランチ&セミナー (イ)ティーパーティー&セミナー (ウ)ランチ&セミナー (エ)婚活ティーパーティー 延べ参加人数 男性44人、女性38人	・新規1地区を含む4地区の申請を受け地域活力の向上を図ることができた。 ・婦人会が他団体と連携しながら、結婚を前提とした出会いを提供する事業を支援することができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
<p>市民や関連団体と連携して、地方創生を推進します。</p>	<p>③文化財保護団体や文化芸術団体、教育機関等と連携しながら、各種施策を推進します。</p>	<p>文化観光課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡めぐりや体験講座等の実施 事業数 5事業 以下の団体と連携 (ア) 依佐美送信所記念館のガイドボランティアの会 (イ) 刈谷ふるさとガイドボランティアの会 (ウ) 小堤西池のカキツバタを守る会 (エ) おさの会 (オ) 刈谷茶好会 ・ 中学生ボランティア参加によるワークショップの運営 2回 ・ 大学との協働によるプログラムの実施 7回 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各団体と連携を図り、市民が文化芸術に触れる機会を提供することができた。 ・ 実施者及び参加者それぞれの美術体験の深化を図ることができた。

福祉健康部 平成30年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
<p>障害者、高齢者等が地域で安心して暮らすことのできる環境づくりを目指します。</p>	①第4次地域福祉計画（計画期間：平成32年度～36年度）の策定に係る基礎資料を作成します。	福祉総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・懇話会の開催 2回 ・アンケート調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを実施し課題やニーズを把握することができた。 ・計画策定に向けた地域福祉施策について協議を行うことができた。
	②ヘルプマークの普及、啓発を推進します。	福祉総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプマーク配布個数 1,061個 	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所や市民センター等でヘルプマークの配布を行うとともに、公共施設や駅、公共施設連絡バス等にポスターを掲示し、制度の周知を図ることができた。
	③ICTを活用した、在宅医療・介護連携を推進します。	長寿課	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携推進協議会の開催 3回 ・「えんjoyネット刈谷」患者登録数 104人 (H31.3.31現在) 	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携マニュアルの策定に取り掛かるとともに、ICTを活用した情報共有システム「えんjoyネット刈谷」の利用促進を図ったことで、地域の医療・介護関係者間の情報共有を支援することができた。
	④住民主体の介護予防活動を支援します。	長寿課	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リハビリ活動支援事業利用団体 9団体 ・地域サロン活動等補助事業登録団体 19団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の介護予防活動を推進するため、介護予防活動支援事業利用団体の設立、運営を支援することができた。
	⑤認知症の人やその家族を支える環境づくりを推進します。	長寿課	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーターステップアップ講座受講者数 52人 ・認知症徘徊高齢者搜索模擬訓練参加者数 73人 ・認知症初期集中支援チームによるケア対象者 4人 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する正しい知識を広く普及させる取り組みを行い、認知症の方が安心して暮らし続けることができる地域づくりにつながることができた。
	⑥地域支援事業の推進に向け、関係機関との体制整備に取り組みます。	長寿課	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援・介護予防体制整備推進協議会の開催 3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーター等各委員による地域活動の取り組みについて情報共有を行い、地域支援事業の充実を図ることができた。
	⑦医療制度や年金制度について、市民に分かりやすい情報提供をします。	国保年金課	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ・市民だよりによる情報提供 26回 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、市民だよりを利用し、各種制度についての説明や案内を行うことができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
生活困窮者の自立に向けての支援を行います。	①生活保護受給世帯に対し、就労支援を行います。	生活福祉課	・支援者数 42人 ・就労者数 31人	・生活保護受給者に対し就労支援を行い、自立促進を図ることができた。
	②生活困窮者の自立支援を行います。	生活福祉課	・支援者数 22人 ・就労者数 18人	・生活困窮者自立支援制度の各種支援により、自立の促進を図ることができた。
	③学ぶことが困難な子どもへの学習支援により、将来の自立に向けた支援を行います。	生活福祉課	・学習教室の開催 42回	・学習できる環境を提供し、将来の自立に向けた支援を行うことができた。
市民の健康づくりを支援します。	①各種がん検診を推進し、病気の発症・重症化予防に努めます。	健康推進課	・各種がん検診受診者数 延べ37,903人	・がん検診受診を奨励し、早期発見に努めることができた。
	②主体的な健康づくりを奨励し、生活習慣の改善を支援します。	健康推進課	・かりや健康マイレージ事業達成者への優待カード 交付枚数 464枚	・健康づくりの動機付けとして、幅広い世代の参加を得ることができた。

(2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
保険制度の適正な運営に努めます。	①介護保険事業所に対し、人員基準や運営基準等について実地指導を行います。	長寿課	・実地指導事業所数 50事業所	・介護保険事業所の改善点を指摘し、適切なサービス提供につなげることができた。
	②ケアマネジャーやサービス提供事業者に対して、指導、助言を行います。	長寿課	・ケアプランの点検数 74件	・ケアプランを客観的な視点で審査することにより、適切なサービス提供につなげることができた。
	③特定健康診査の受診を推進します。	国保年金課	・健診受診勧奨の実施者数 8,300人	・特定健診の受診を促すことで、生活習慣病の早期発見及び重症化の予防につなげることができた。
	④生活習慣病の重症化を予防します。	国保年金課	・健診結果に基づく医療機関受診勧奨の実施 対象者数 500人	・特定健診の結果を分析し、対象者の状態にあった案内により医療機関への受診を促すことができた。
	⑤ジェネリック医薬品の利用を推進します。	国保年金課	・ジェネリック医薬品利用差額通知の送付を実施 ・ジェネリック医薬品利用率 64.3%	・医療費の増加抑制につなげることができた。
	⑥レセプト等の点検を強化します。	国保年金課	・柔道整復等療養費支給申請書の点検を実施 ・再審査申出件数 335件	・柔道整復等療養費支給申請書の内容点検を全件実施することで過誤請求を減らし、医療費の適正化を図ることができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
保険制度の適正な運営に努めます。	⑦後期高齢者医療保険料の収納率向上を図るため、高齢者に合わせたきめ細やかな対応をします。	国保年金課	・普通徴収の収納率維持 99%	・電話催告や訪問等を行い制度の説明を理解してもらったうえで納付につなげ、収納率を維持することができた。

(4)市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
地域の課題解決のために、市民や企業、各種団体などとの連携を支援します。	①刈谷市障害者自立支援協議会の開催や各部会への参加により、障害者を支援するための施策を協議します。	福祉総務課	・協議会の開催 3回 ・部会の開催 18回	・協議会や各部会の開催により、支援機関の連携向上など障害者施策の推進を図ることができた。
	②地区社会福祉協議会の設立についての支援を行います。	福祉総務課	・住民会議の開催 5回	・地域福祉計画策定と関連して住民会議を実施し、地域福祉推進における地区社協の意義や在り方について意見交換し、理解を深めることができた。 ・(仮)中部地区社協の設立準備委員会が発足し、設立に向けて動き始めることができた。
	③高齢者の見守り及び安否確認体制の充実を図ります。	長寿課	・協定締結事業者数 43事業者 (61事業所)	幅広い業態の事業者に協定締結を呼びかけ、高齢者見守り体制の拡充につなげることができた。
	④市民が身近な場所で健康づくりに取組むことができるよう、保健推進員地区活動を支援します。	健康推進課	・保健推進員地区活動(運動教室、歩け歩け運動、栄養教室他) 参加者数 4,216人	・運動教室をはじめ、歩け歩け、栄養教室などの地区活動に多くの参加者が得られ、市民の健康づくりを支援することができた。

次世代育成部 平成30年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
関係機関と連携し子育て支援施策の充実を図ります。	①子ども・子育て支援事業計画の次期計画策定に向けて検討します。	子育て推進課	・就学前児童の保護者2,000名、小学生児童の保護者1,000名に対してアンケートによるニーズ調査実施	・計画策定に向けて、ニーズの把握ができた。
	②見守りが必要な児童の早期発見と適正な支援のための実務者会議を開催します。	子育て推進課	・実務者会議開催回数 12回 ・ケース検討会議開催回数 11回	・関係機関の連携強化により、見守りが必要な児童の早期発見と適正な支援を行った。
	③妊娠・出産・子育て包括支援事業を推進します。	子育て支援課	・若年妊婦の支援計画作成と支援 計画作成率100%	・24歳以下の若年妊婦130人全員に対して、妊娠中から子育て期にわたる支援計画を作成し、適切に支援することができた。
子どもを安心して生み育てることができるよう、きめ細やかなサービスの提供に努めます。	①放課後児童クラブの段階的な学年拡大を図ります。	子育て推進課	・8小学校で6年生まで学年拡大	・13小学校において6年生までの受入を実施し、利用者サービスの向上を図った。
	②夢と学びの科学体験館のプラネタリウム番組、ラボ体験、サイエンスショーの内容の充実を図ります。	子育て推進課	・延べ入館者数 227,504人	・各プログラムとも内容の充実を図り、目標の入館者数22万人を超えた。
	③母子訪問事業を推進します。	子育て支援課	・母子訪問事業（あかちゃん訪問） 訪問利用率 90.2%	・出産後の母子が抱える多様な相談に対応し利用者の安心につなげることができた。
	④新生児聴覚検査の費用を補助し、母子健康診査等事業を推進します。	子育て支援課	・新生児聴覚検査 検査利用率 90.8%	・新生児聴覚検査の費用補助を行うことで、聴覚障害を早期に発見し、適切な支援に繋げるための一助となった。
	⑤しげはら園に通う園児の自立に向けて、一人ひとりの発達に適した支援を行うとともに、保護者の支援を行います。	子育て支援課	・保護者向けの研修会、個別相談会、言語相談等開催回数 27回 ・園児に対する言語療法と母親相談の実施回数 92回	・療育相談実施に伴うアンケート調査を行い、保護者のニーズに合わせた専門職による療育相談が実施できた。
	⑥幼稚園預かり保育の充実を図ります。	子ども課	・本年公立幼稚園3園で行う預かり保育の時間延長について、効果や課題を確認し、体制を確立	・令和2年4月からの幼稚園（幼保連携型認定こども園）への移行（16園）を踏まえ、令和元年度の預かり保育サービス拡充園の拡大（3園→8園）に向けた取組を適正に行うことができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
子どもを安心して生み育てることができるよう、きめ細やかなサービスの提供に努めます。	⑦一時保育受付方法を改善します。	子ども課	・受付時の混雑解消	・受付時の混雑を解消することができた。 ・一時保育利用希望者の公平性を確保することができた。 ・利用者の受付時の負担を軽減することができた。
必要な子育て支援施策を適切に選択できるよう、積極的に情報を提供します。	①子育てアプリ及びウェブサイトを活用した情報発信を行います。	子育て推進課	・子育てアプリの機能・内容の充実 ・アプリ登録件数 2,041件	・アプリの充実及び周知により、子育て世帯が各種子育て支援サービスの情報を受けやすくなった。
	②子育てガイドブックの掲載内容の充実を図ります。	子育て推進課	・子育てガイドブックの改訂	・改訂に当たり子育て世帯に必要な情報を充実し、市民サービスの向上につながった。

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
子育て家庭が安心と安全な生活を送ることができるよう支援します	①子育て中の母親の孤立を防ぎ、心の安定を図るため、家庭に訪問員を派遣します。また事業の適切な運営を図るため、アセスメント会議を開催します。	子育て支援課	・必要に応じて訪問員を派遣 延べ335回 ・アセスメント会議開催回数 12回	・市民ボランティアの訪問員を派遣することで、子育て中の母親の悩み、不安の解消を図ることができた。 ・関係機関が集まるアセスメント会議を毎月開催することで、要支援家庭に対する適切な支援計画を作成することができた。
	②子育て支援センターを始め、子育て世帯の身近な施設に子育てコンシェルジュを配置し、子育て世帯が多様な子育て支援事業の中から適切な事業を選択できるよう支援します。	子育て支援課	・子育てコンシェルジュの相談対応件数 958件	・子育てコンシェルジュを身近な施設に配置することで、気軽に相談できる体制を整え、最適な子育て支援サービスの提供につながった。

(6) 創造性豊かで、柔軟な発想と行動ができる職員を育てる市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
職員の確保・資質の向上を目指します。	①放課後児童支援員及び補助員の資質向上を図ります。	子育て推進課	・放課後児童支援員及び補助員の研修会 開催回数2回	・研修会の実施により、支援員及び補助員の資質向上につながった。
	②保育士・教諭の研修や研究を積極的に実施し、資質向上を図ります。	子ども課	・研修参加延べ人数 1,393人	・保育に関する内容を学び、保育士・教諭の資質向上につながった。
	③保育士・教諭の確保のため、就職セミナーに参加するとともに、大学訪問をしてPRを行います。	子ども課	・就職セミナーへの参加及び養成校である大学への訪問回数 3回	・セミナー参加者及び訪問大学の学生から16人を採用することができた。
	④潜在保育士の現場復帰のための支援を行います。	子ども課	・潜在保育士の復職支援研修開催数 3回	・研修参加者の中から1人が就業を希望し、採用することができた。

産業環境部 平成30年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民ニーズや社会的ニーズを的確に把握し、その実現に努めます。	① 中小企業の活性化を図ります。	商工業振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の工場や機械設備への投資補助 5件 ・小規模企業者への設備投資補助 17件 ・中小企業の人材確保のための事業 <ul style="list-style-type: none"> 合同企業説明会の出展料補助 20件 就職情報サイトの掲載料補助 3件 ・人材育成のための研修等への受講料補助 2件6名 ・人材育成セミナーの実施 <ul style="list-style-type: none"> 企業人材パワーアップセミナーの開催 57名 女性活躍推進セミナー等の開催 3回68名 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の工場や機械設備の投資を促進することができた。 ・小規模企業者の設備投資を促進することができた。 ・中小企業の人材確保を支援することができた。 ・企業の人材育成を支援することができた。 ・階層別のセミナーを開催することで、中小企業の人材育成と異業種交流を支援することができた。 ・女性の働きやすい環境とキャリアデザインについて、理解を深めることができた。
	② ものづくりのまち刈谷をアピールし、人材育成や雇用促進を目指します。	商工業振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・専門高校生を対象としたイベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> 全国高校生コマ大戦を開催 38校112チーム、愛知県工業高校生ロボット競技大会を共催 22校32チーム参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門高校生に技術披露の場所を提供し、ものづくりのまち刈谷をアピールすることができた。
	③ 体験を通して「食」への関心を深めるため、親子で参加できる教室等を開催します。	農政課	<ul style="list-style-type: none"> ・親子農業体験教室 16回 ・親子料理教室 2回 ・親子料理コンテスト 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子での農作業や収穫体験を通じ、地域農業への理解を深め、地元農産物の消費拡大を図ることができた。 ・しょくまるファイブを活用し、子供たちに解り易く健康・栄養について解説し、親子で食育について理解を深めることができた。
	④ 優良農地の確保を図るため、農業施設の整備を行います。	農政課	<ul style="list-style-type: none"> ・用排水路整備箇所 12箇所 ・幹線排水路の改良延長 829m 	<ul style="list-style-type: none"> ・用排水路、農道の整備・改良を行い、湛水被害の軽減や道路利用者の安全性・利便性向上を図った。
	⑤ 資源回収所及び不燃物理立場で回収している陶器・ガラス類を資源として再利用することで、埋立量を減らし、不燃物理立場の延命化を図ります。	ごみ減量推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・陶器・ガラス類の再利用量 141t 	<ul style="list-style-type: none"> ・陶器リユース 17t ・陶器・ガラスのリサイクル 123t
	⑥ 安全にスプレー缶を収集するために分別収集を検討する。	ごみ減量推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・社会実験実施地区数 2地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜地区、高須地区にて実施

(2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
健全財政を維持するため、財源の確保に努めます。	①企業の市外流出を抑制するため、新たな工業用地を依佐美地区において確保します。 ②広告掲載を活用して、グリーンカレンダー及びガイドブックを発行します。	企業立地推進室 ごみ減量推進課	・先行開発区域の用地売買契約率 100% ・関係部署との調整会議の開催 2回 ・広告掲載による経費削減	・全ての用地売買契約をとりまとめ、関係部署と調整を図った結果、工業用地造成工事に関する手続きが開始された。 ・広告掲載料により 993,600円削減
補助金等の活用を積極的に進めます。	①げんき商店街推進事業費補助金の利用促進に努めます。 ②農業用施設の改修等は積極的に補助事業を活用すると共に、上位機関に農業農村整備予算の拡充を要望します。	商工業振興課 農政課	・補助金利用団体 4件 ・県費補助採択数 2地区	・補助金を申請した事業は全て採択され、商店街の活性化に繋がった。 ・県費補助事業を活用し、井ヶ谷及び東境地区の農業排水路の改修・改良を行い、排水能力向上や維持管理軽減を図った。

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
将来の市民ニーズや社会的ニーズを予見し、積極的に対応します。	①商店街が地域コミュニティの拠点となるよう支援します。 ②農業振興の推進を図るため、中心的担い手及び新規就農者の確保・育成を図ります。	商工業振興課 農政課	・商業団体事業費補助 7団体 ・商業団体街路灯等電灯料補助 7団体 ・認定農業者の新規認定 1経営体	・商店街が地域の拠点となるための必要な支援を行うことができた。 ・制度の説明や相談対応の実施及び関係機関等との連携により、地域の中心的担い手となる法人経営体を確保することができた。
生活環境が良好に保たれた低炭素で持続可能な住み良い環境づくりを推進します。	①低炭素型の持続可能な環境都市の実現を目的とする環境都市アクションプランの進行管理を行います。 ②地球温暖化の主な要因である二酸化炭素の排出削減に寄与するための各種補助金を交付します。 ③かりやエコポイント事業を実施します。	環境推進課 環境推進課 環境推進課	・環境都市アクションプラン推進会議の開催 1回 ・次世代自動車購入費補助台数 770台 ・住宅用地球温暖化対策設備設置費補助件数 410件 ・参加世帯数（累計） 4,648世帯	・取組の実施状況、二酸化炭素の排出状況の把握と評価を行い、アクションプランの適正な進行管理ができた。 ・次世代自動車、住宅用地球温暖化対策設備の普及促進を図ることにより、二酸化炭素の排出削減に寄与することができた。 ・市民の環境意識の高揚及び環境保全活動の取組促進に寄与することができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
生活環境が良好に保たれた低炭素で持続可能な住み良い環境づくりを推進します。	④グリーンカーテンコンテストを実施します。	環境推進課	・参加登録世帯数 129世帯	・地球温暖化、省エネルギー対策の推進に寄与することができた。
	⑤市民団体が実施する資源回収活動に対して報償金を交付します。また、自治会が資源回収所を設置する際に補助金を交付します。	環境推進課	・資源回収量 2,930t ・資源回収所設置費補助件数 1件	・資源回収活動を行う市民団体の活動を活性化することにより、ごみの減量と資源の再利用の推進を図ることができた。
	⑥事業所の環境に配慮した自主的な取組を促進します。	環境推進課	・かりやe c o事業所の認定・更新 37事業所	・事業者の環境に配慮した自主的な取組を支援し、環境意識の高揚を図ることができた。
	⑦公共施設のエネルギー使用量を把握するとともに、削減を推進します。	環境推進課	・省エネ推進連絡会及び公共施設エネルギー検討部会の開催 各1回 ・エコアクション刈谷の周知・啓発 啓発メールの配信 月1回 ・新規採用職員を対象とした環境講座の実施 1回	・各施設のエネルギー使用量の把握、改善計画の作成を行い、省エネルギー対策の推進を図ることができた。 ・啓発メールの配信や新規採用職員を対象とした講座の実施により、職員の環境意識の高揚を図ることができた。
⑧公害防止に万全を期すとともに、良好な環境を守り、育て、創造していくため、監視測定、工場立入調査を実施します。	環境推進課	・騒音測定（交通・環境）箇所数 21箇所 ・環境保全協定に基づく工場立入 27社31工場	・騒音の現状を把握し、市民の生活環境の保全を図ることができた。 ・各事業所の公害防止に対する取組等を確認し、市民の生活環境の保全を図ることができた。	

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
地域や関係団体・組織との対話、協働を促進します。	①農業委員会と連携し遊休農地及び違反転用の実態把握と解消に向けた取組を行います。	農政課	・農地パトロール実施回数 16回	・農地パトロールを継続的に行い遊休農地及び違反転用の早期発見・解消を図ることができた。
	②農業用施設の良い維持管理と農村環境の保全向上を目指し、農業者だけでなく地域住民や団体などを巻き込んだ地域環境保全活動の推進します。	農政課	・多面的機能支払交付金の指導・支援地区数 9地区	農業者と地域住民が一体となり、地域環境保全活動を行い、土地改良施設の良好な維持管理と農村環境の保全向上が図れた。
	③地域猫活動団体への支援を行います。	環境推進課	・地域猫不妊・去勢手術費補助件数 不妊手術 56件 去勢手術 44件	・不妊去勢手術費の一部を補助することで飼い主のいない猫の増加抑制のために地域猫活動を行う団体を支援し、ふん尿等による住民トラブルの減少、動物愛護精神の養成、住民と動物が共生できるまちづくりの促進を図ることができた。

建設部 平成30年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
安心・安全で快適な道路空間を整備します。	①危険な交差点の安全確保のため、交差点のカラー化を実施します。	土木管理課	・交差点のカラー化の実施 13箇所	・道路利用者や地域住民の安全意識の向上を図ることができた。
	②歩行者が安心して通行できる歩行空間を整備します。	道路建設課	・市道の歩道設置及び改良 5路線	・歩道の拡幅や新設を行うことにより、歩行者が安心して通行できる歩行空間の整備を行うことができた。
	③渋滞解消のための道路整備を推進します。	道路建設課	・市道の新設改良 2路線	・道路の拡幅や新設を行うことにより、渋滞解消のための道路整備を推進することができた。
災害に強いまちづくりを推進します。	①避難路に架かる橋りょうの耐震化を図ります。	道路建設課	・橋りょうの耐震補強対策 3橋	・避難路に架かる橋りょうの耐震補強対策を行うことにより、安全性を高めることができた。
	②わが家の地震対策事業の普及に努め、耐震改修を促進します。	建築課	・木造住宅等耐震改修補助件数 83件 ・耐震啓発ローラー作戦等の実施 3回	・対象者へのダイレクトメールの送付や地区団体等への周知活動により、木造住宅無料耐震診断や耐震改修補助、取壊し補助等について、前年度を上回る申請を受けることができた。
	③市民の集まる機会を活かした地震対策の啓発を行います。	建築課	・愛知県建設組合連合への耐震改修工法等勉強会の実施 0回 ・防災まちづくり協議会へ耐震改修等補助制度について啓発を実施 0回	・大阪府北部地震のブロック塀倒壊事故を受け、市内のブロック塀調査を優先的に実施した。
	④大地震による地盤の滑動崩落に対する予測調査を行い、市民に情報提供します。	建築課	・地区及び小学校等における出前講座の実施 4回 ・刈谷わんさか祭り等における耐震改修工法の紹介 5回	・耐震シェルターの実物展示を行ったことで、市民の具体的な耐震対策を紹介することができ、今後の補助申請等に繋げることができた。
⑤市営住宅入居者の収入超過者及び高額所得者の自主退去を促し、入居希望者への募集住戸の増加を図ります。	建築課	・ホームページにおける調査結果の公表 ・自主退去件数 18件	・ホームページに公開することで、大規模盛土造成地の把握や防災意識の高揚に繋げることができた。 ・市営住宅入居者の収入超過者及び高額所得者に対し、通知及び面談等を行うことで自主退去を促し、募集住戸を増加することができた。	

(2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
国・県の補助制度を積極的に活用します。	①国庫補助・県費補助事業採択に向けた関連機関と協議します。	土木管理課 道路建設課 建築課	・補助事業採択に向けての協議件数 11件	・関連機関と協議した結果、国庫補助・県費補助事業として採択された。
次代を支える健全財政を維持した市役所づくりを推進します。	①橋りょう長寿命化計画に基づいた維持保全を図ります。	土木管理課	・橋りょうの長寿命化対策 点検 81橋 補修工事 21橋	・橋梁を健全な状態に保ち、安全で円滑な交通を確保することができた。

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
将来に向けた刈谷市の交通環境の整備を図ります。	①刈谷スマートICの整備を促進をします。	道路建設課	・スマートIC整備に向けた協議会等の開催 4回	・スマートIC整備に向けた関係機関等協議により設計及び工事調整を行うことで、計画に沿った工事進捗を図ることができた。

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
ボランティア制度の確立を図ります。	①地区防災会等との連携や市民の集まる機会を活かし、無料耐震診断、耐震改修の実施の啓発を行います。	建築課	・特定エリアにおいて地区役員とともにローラー作戦を実施 3回 ・地区団体等との連携による耐震啓発の実施 2回	・地区防災事業に積極的に参加し、過去の地震被害を踏まえた耐震化の必要性を説くことで、市民の耐震意識を高め、無料耐震診断・耐震改修等の申込みに結び付けた。

(6) 創造性豊かで、柔軟な発想と行動ができる職員を育てる市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
職員研修への参加を促します。	①職員研修への参加を促進します。	土木管理課 道路建設課 建築課 用地対策課	・研修参加件数 49件	・積極的に研修に参加したことで、実務的な知識を習得でき、日々の業務に反映することができた。

都市政策部 平成30年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
安全安心で快適な生活空間づくりを推進します。	①土地区画整理事業を推進し、良好な住環境を整備します。	市街地整備課	小垣江駅東部 ・物件移転交渉 1件 野田北部 ・物件移転交渉 1件	小垣江駅東部 ・物件移転における合意形成に向けて交渉を重ねた。 野田北部 ・物件移転における合意形成に向けて交渉を重ねた。
民間活力の導入により市民サービスの向上に努めます。	①公園の指定管理者制度の適正な執行と管理者とのきめこまかい情報交換を図ります。	公園緑地課	・打合せ回数 32回	・定例会での定期的な打ち合わせと随時の連絡・報告により、情報を共有し、質の高い市民サービスを提供することができた。

(2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
多角的な財源確保に努め、計画的に事業を推進します。	①公共施設連絡バスに広告を掲載して収入を確保します。	都市交通課	・広告掲載件数 35件	・市の広告収入が増加した。
	②社会資本整備総合交付金等を積極的に活用します。	まちづくり推進課 公園緑地課 市街地整備課	・交付金活用件数 10件	・国や県等の動向に細心の注意と積極的な情報収集に努め、補助金を確保することができた。
	③公園施設長寿命化計画に基づき、施設の更新・修繕を計画的に行います。また、計画対象を全公園に拡大した長寿命化計画を策定します。	公園緑地課	・施設更新公園数 12公園 ・施設修繕公園数 8公園 ・計画策定公園数 27公園	・公園の安全性、美観性が向上し、市民の憩いの場として、安心・安全で快適な都市公園を提供することができた。

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
<p>やすらぎと潤いのある良好な住環境を整備し、持続可能なまちづくりを推進します。</p>	<p>①亀城公園を歴史や文化に触れることのできる城址公園として整備します。</p>	<p>公園緑地課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計に向けた調査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係法令への対応とあわせて、安全対策を踏まえた実現手法に対する課題の整理を実施することができた。
	<p>②空家等の発生抑制、適切な管理及び活用を促進する基本的な方針を示す空家等対策計画を策定します。</p>	<p>まちづくり推進課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係部署との調整会議の開催 3回 ・対策協議会の開催 3回 ・計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係部署との調整や対策協議会における協議等により刈谷市空家等対策計画を策定することができた。(平成31年3月公表)
	<p>③本市の都市計画に関する基本的な方針を定めるため2030年を目標年次とした第4次刈谷市都市計画マスタープランを策定します。</p>	<p>まちづくり推進課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係部署との調整会議の開催 3回 ・市民アンケートの実施 2,000世帯 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次刈谷市都市計画マスタープランの策定に向けて現状分析や市民アンケートを実施し、関係部署との協議・調整により都市づくりの課題を整理することができた。
	<p>④市内への定住の促進と活発な産業活動を支えるため、拡大市街地の実現に向け調整を図ります。</p>	<p>市街地整備課 まちづくり推進課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等との調整会議の開催 14回 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な市街地の拡大に向けて伊佐美地区では地区計画の決定及び建築制限条例を改正することができた。また、小垣江町北部地区では地権者等への説明を実施することでまちづくりに対する理解を深めることができた。
	<p>⑤刈谷駅周辺における適正な土地利用の誘導に向け調整を図ります。</p>	<p>まちづくり推進課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等との調整会議の開催 9回 	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷駅周辺における適正な土地利用の誘導に向けて関係機関等との協議・調整により課題を抽出することができた。また、協議を重ねることでまちづくりに対する理解を深めることができた。
	<p>⑥民間活力を活用した市街地整備を促進します。</p>	<p>市街地整備課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活力の活用地区数 2地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・優良建築物等整備事業として民間再開発を実施することで、良好な住環境整備を推進することができた。
	<p>⑦刈谷市駅周辺を対象にした整備方針等を示す基本計画を策定します。</p>	<p>市街地整備課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係部署との調整会議の開催 4回 ・計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係部署との調整を行う計画策定部会における意見聴取を行うことにより市街地総合再生基本計画を策定することができた。
	<p>⑧安全で利便性の高い刈谷駅北地区の交通空間を整備します。</p>	<p>都市交通課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等との調整会議の開催 15回 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関協議や地元調整を重ね、駅前交通空間形成に向けた方向性の検討を行うことができた。
	<p>⑨まちなかマネジメント構想に基づいて策定した整備方針「中心市街地まちづくり基本計画」に沿って、亀城公園周辺整備の事業案を検討します。</p>	<p>まちづくり推進課 公園緑地課 市街地整備課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係部署との検討会議の開催 7回 ・事業計画案の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係部署との協議・調整により亀城公園周辺整備の事業計画案を策定することができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
将来に向けた刈谷市の交通環境の整備を図ります。	①本市が目指す将来都市像の実現に向けた総合交通体系の展開を図ります。	都市交通課	<ul style="list-style-type: none"> 刈谷市都市交通戦略の中間見直し検討及びバス路線再編 都市交通協議会開催 2回 都市交通協議会バス専門部会開催 4回 	<ul style="list-style-type: none"> 上位計画改定、法改正等に伴う都市交通戦略中間見直し検討を進めると共に、各都市交通施策の進捗管理、バス路線再編を行うことができた。
	②刈谷駅のホーム拡幅に向けた安全対策の検討に取り組みます。	都市交通課	<ul style="list-style-type: none"> J R刈谷駅における安全対策の検討 J R東海協議 13回 関係機関協議 15回 	<ul style="list-style-type: none"> J R東海と協議を重ね、駅改良計画の概略設計をまとめ、計画案を策定した。
	③公共施設連絡バスの運行情報の充実を図ります。また、運行事業者との連絡調整を行い、安全運行の維持向上に努めます。	都市交通課	<ul style="list-style-type: none"> バスロケーションシステムの運行モニター設置 2箇所 運行事業者等との会議の開催 3回 	<ul style="list-style-type: none"> バスの位置情報をはじめとする運行情報がリアルタイムに確認でき、バス利用者の待合環境及び利便性が向上した。 また、運行事業者等と連絡会を適宜開催し、安全運行の維持に努めた。

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
まちづくり施策の推進において、住民意思の反映機会を拡充します。	①まちづくりワークショップや勉強会等への市民参加を促します。	まちづくり推進課	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップ等の活動回数 19回 	<ul style="list-style-type: none"> 地区住民や関係団体等が主体的に参加するワークショップ等の中心市街地活性化事業を支援することにより、まちづくり活動への市民参加を促すことができた。

水資源部 平成30年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
災害への備え及び災害発生時の対応力の向上を図ります。	①水道管の耐震化を進めます。	水道課	・基幹管路（φ300以上）41kmの耐震化率 84.3%【5.8%増】	・基幹管路の耐震化を推進し、災害等への備えを強化することができた。
	②災害発生時における飲料水供給に備えます。	水道課	・迅速な初動態勢を構築するために施設管理委託業者と合同訓練 2回 ・給水車や緊急時に使用する資機材の操作訓練 2回 ・刈谷わんさか祭りで応急給水体制の周知を図る 1回	・災害時における機械操作及び連絡体制の確認を行い、緊急時対応の習熟、迅速化を図ることができた。 ・刈谷市総合防災訓練での給水車の操作訓練や水道組合と合同で資機材の操作訓練を実施し、手順を再確認することができた。 ・刈谷わんさか祭りで応急給水体制を周知し、市民への啓発を図ることができた。
	③災害時における下水道機能の継続・早期復旧に備えます。	下水道課	・マンホールの耐震化 34箇所 ・マンホールポンプ操作訓練の実施 1回	・重要路線のマンホールの耐震化を推進し、災害等への備えを強化することができた。 ・停電時のマンホールポンプ操作の対応能力を向上させることができた。
	④浸水被害の解消を図るため準用河川及び雨水排水施設を整備・改修します。	雨水対策課	・準用河川の改修 1箇所 ・排水ポンプ等の設備の更新 10箇所	・準用河川草野川の改修を行い、集水区域内の浸水被害を防止し、治水安全度を向上させることができた。 ・設備の更新を計画的に行い、排水ポンプ等の適切な維持管理を行うことができた。
	⑤災害に強いまちづくりを推進するため雨水貯留浸透施設設置補助事業の活用を促進します。	下水道課 雨水対策課	・雨水貯留浸透施設設置補助件数 12件（貯留タンク 10件（1.9m ³ ）、透水性舗装 2件（6,051m ² ））	・市民の協力により、雨水の貯留量が増加し、治水安全度を向上させることができた。
安心・安全で快適な生活空間づくりを推進します。	①公共下水道（汚水）を整備します。	下水道課	・下水道普及率 92.7%【0.3%増】	・下水道整備により供用開始区域が13.8ha増加した。
	②小中学生を対象とした下水道ポスターを募集し、入賞作品の展示を通じて普及啓発を行います。	下水道課	・ポスターコンクールの実施 1回 ・応募者数 705人 ・入賞作品の展示 展示会場 6箇所	・ポスターを描いたり見たりしてもらうことで、下水道の役割を考える機会を提供できた。
	③市民の集まる機会を生かした総合治水対策の啓発を行います。	雨水対策課	・出前講座、刈谷わんさか祭り等で総合治水対策の啓発を実施 4回	・大勢の市民が集まる機会を活用し総合治水に関する啓発を実施し、市民意識を向上させることができた。

(2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
公共料金等収納の向上や国・県の補助制度を積極的に活用することで財源の確保を図ります。	①民間事業者による業務運営により、滞納者に対する戸別訪問などを実施することで収納率の向上に努めます。	水道課	・滞納繰越分収納率 98.4%	・滞納者を早期に把握し速やかに対応することで滞納繰越分収納率90%の目標を上回ることができた。
	②受益者負担金の収納率の向上に努めます。	下水道課	・負担金収納率 95.4 %	・納入期限の周知を図ることで負担金収納率90%の目標を上回ることができた。
	③関連機関と協議し、国庫補助・県費補助制度を利用します。	下水道課 雨水対策課	・補助活用件数 8件	・補助金を活用し、下水道整備事業及び下水道長寿命化事業などを推進できた。 ・補助金を活用し、準用河川草野川改修事業を推進できた。
	④排水施設等の長寿命化を図るため農業用関係補助制度を利用します。	雨水対策課	・補助活用件数 4件	・農業系補助金を活用し、4機場の設備更新を行い施設の長寿命化を図ることができた。
将来にわたっての施設の適正な管理と、安定したサービスの提供を図ります。	①老朽管の改修を行い、下水道施設の延命化を図ります。	下水道課	・改修延長 1.2km	・老朽管の改修工事を行い、管路の延命化を図ることができた。
	②水道を取巻く事業環境の変化を把握し、求められる水道の理想像と目標を示します。	水道課	・水道事業ビジョン及び経営戦略策定に向けて、現状把握などを実施	・水道事業の課題を抽出し、策定に向けて必要な基礎資料の整理を行うことができた。
	③下水道施設を適切に管理し、将来的に安定した下水道サービスを提供するための中長期的な経営や維持管理の基本となる計画を策定します。	下水道課 雨水対策課	・経営戦略及び下水道ストックマネジメント計画策定に向けて、現状把握などを実施	・下水道事業の現状把握を行い、策定に向けて必要な基礎資料の整理を行うことができた。

(6) 創造性豊かで、柔軟な発想と行動ができる職員を育てる市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
知識の向上と新たな技術・手法を積極的に活用できる経営感覚あふれる職員を育成します。	①自主的な研修参加を支援するとともに、国、県等の実施する研修会などに積極的に参加します。	水道課 下水道課 雨水対策課	・研修参加人数 84人	・各種研修に積極的に参加し、今後の効果的・効率的な事業推進に必要な知識・技能を習得することができた。

教育部 平成30年度組織重点目標（実績・成果）

(1) 市民から信頼され、満足度の高いサービスを提供する市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
学校生活における児童生徒の安心安全の確保に努めます。	①学校給食におけるアレルギー対応食の実施及び食物アレルギー対策の普及に努めます。	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校を対象に鶏卵アレルギー対応食を実施 小学校 55人 中学校 19人 ・幼稚園、小中学校を対象に飲用牛乳アレルギー対応食を実施 小学校 38人 中学校 14人 幼稚園 25人 ・特別支援学校の形態食において、保護者と個別に相談を行い、アレルギー対応食を実施 高等部 1人 ・食物アレルギー講演会を実施 参加者 97名 	<ul style="list-style-type: none"> ・鶏卵、牛乳を原因とする食物アレルギー事故が回避でき、アレルギーを持つ児童生徒にも給食を提供することができた。 ・保護者及び教職員を対象に講演会を開催し、アレルギーに関する啓発に努めることができた。
	②すこやか教室に通級しながら学校復帰を目指します。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・通級者の学校復帰は4人 ・通級者のうち中学校3年生の23人中23人が進学(進学率100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員による指導のもと、学校復帰に向け、学習支援や集団生活への支援に取り組むことができた。
	③子ども相談センターでの相談活動の充実に努めます。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ機能 785件 ・つなぎ機能 546件 ・継続的相談の実施 54件 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談を受けるワンストップ機能と、次の機関へコーディネートする、つなぎ機能の両方を使い、問題を解決することができた。
	④防犯ブザーを配付します。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・小学1年生1,496人全員に配付 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の登下校の安全を確保することができた。
	⑤保護者や地域の方の力を借り、事件事故から子どもたちを守ります。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・3名のスクールガードリーダーの指導の下、全小学校において、合計436名のスクールガードが見守りを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の登下校の安全を確保することができた。重篤な事案はなかった。
	⑥いじめ防止に取り組みます。	教育総務課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷市いじめ防止基本方針に基づき、いじめ問題対策委員会を開催 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市におけるいじめ防止の在り方について、意見や提案をいただいた。
	⑦学校評価の公表を行います。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のホームページでの公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の透明性に努めることができた。
	⑧外国人の児童生徒が学校に慣れ親しめるような教育的支援を進めます。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・週5日ポルトガル語、タガログ語、中国語の語学指導員を小中学校に派遣 ・かりがね小学校、朝日小学校にプレスクールを設置 ・支援の必要な児童生徒在籍校に大学生による学習支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人児童生徒の教育支援及び学校生活の充実に図ることができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民満足度の向上のため、生涯学習施策の充実を図ります。	①住民ニーズにあった学習プログラムの充実を図ります。	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・開設講座数 157講座 ・開催回数 951回 ・刈谷まなびの広場開設講座数 14講座 ・青年を対象とした講座実施 4講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広いジャンルの講座を開催することにより、学習プログラムの充実が図れた。 ・青年向けの多様な講座を開催し、学習機会の提供や仲間づくりの推進を図ることができた。
	②生涯学習推進計画の重点施策を実施します。	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民講師企画講座の継続実施 10講座 ・「地域を学ぶ講座」の開催 4講座 ・大学と連携した講座の実施 13講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が講座を企画し、自らが指導者として活躍する機会を提供することができた。 ・各大学と連携し魅力ある講座を開催できた。
	③ホームページの閲覧件数を増やすよう積極的な情報提供を図ります。	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページの閲覧件数 224,724件 ・総合文化センターのホームページの閲覧件数 1,142,099件 ・総合文化センターのネット会員数 13,045人 	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会などの図書館の活動内容を周知することができた。 ・総合文化センターで開催されるイベント等を周知することができた。
	④生涯学習講座や子どもの体験活動など生涯学習に関する積極的な情報提供を図ります。	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習情報ホームページの閲覧件数 22,586件 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座や生涯学習情報誌の情報提供することで、講座受講を促すことができた。
	⑤SNSなどの新たな発信ツールを活用して若者向けの積極的な情報提供を図ります。	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年向けのイベント等に関するホームページ閲覧件数 6,421件 	<ul style="list-style-type: none"> ・成人式案内状等でホームページ閲覧を促した結果、閲覧件数が前年比30%増えた。
	⑥指定管理者制度を導入している施設について、指定管理者と相互連携を図り、適正な管理運営を行います。	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・中央生涯学習センター稼働率 52.7% ・市民ホール稼働率 89.3%(大ホール) ・市民休暇村客室稼働率 80.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者と市との連携により高い稼働率を維持できた。また、利用者の満足度も高いことから、適切な維持管理を行うことができた。
市民満足度の向上のため、スポーツ施策の充実を図ります。	①国際大会や全国レベルの大会等を誘致し、市民が高いレベルのスポーツ競技に触れ合う機会を提供します。	スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・全国レベルのスポーツ大会開催(7競技 9事業実施) ・フットサルFリーグプレシーズンマッチの開催(6月実施 1069人観戦) ・国際大会等の招致に関する調査(日本サッカー協会、日本バスケットボール協会に訪問) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国レベルのスポーツ大会を予定どおり開催するとともに、フットサルのプレシーズンマッチを開催し、ハイレベルな競技を観戦する機会を多くの市民に提供することができた。また、さらなる国際大会等の開催を目指し、JFA、JBAを訪問し情報交換を行うことができた。
	②スポーツ関連団体や指定管理者と連携し、積極的な情報提供を図ります。	スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィングアリーナ刈谷やオアシス館刈谷でのホームタウンパートナーチームの常設展示、観光案内所等での大会PR等の実施 ・指定管理者と共同で定期情報紙「スポーツパーク通信」の発行 年4回 ・広報などによるスポーツ関連団体等の企画PR数 118件 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ関連団体や指定管理者と連携し、積極的に情報提供を行うことにより多くの市民にスポーツに参加する機会を提供することができた。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民満足度の向上のため、スポーツ施策の充実を図ります。	③スポーツ振興の計画的かつ一層の推進を図るため、「第3次刈谷市スポーツマスタープラン」を策定します。	スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 策定部会の開催 5回 策定委員会の開催 4回 プランの策定 	<ul style="list-style-type: none"> 策定部会・策定委員会にて、「第3次スポーツマスタープラン」に関する課題や目標の整理を行い新たな10年間の指針となるプランの策定をすることができた。

(2) 次代を支える健全財政を維持した市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
より安心して学校生活を過ごせるよう教育環境の向上を目指します。	<p>①公共施設維持保全計画に基づき、学校施設・設備の改修を計画的に進めます。</p> <p>②学校施設の長寿命化計画を策定し、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図るとともに、学校施設に求められる機能・性能を確保します。</p> <p>③全ての小学校に空調設備を整備します。</p> <p>④給食費納付率の向上に努めます。</p>	<p>教育総務課</p> <p>教育総務課</p> <p>教育総務課</p> <p>教育総務課</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大規模改修工事（小高原小、双葉小、富士松中） 便所改修工事（かりがね小） 外壁改修（住吉小、かりがね小） 屋上防水改修（かりがね小） 文部科学省が示す手引きに基づいた「学校施設の長寿命化計画」の策定 空調設備設置（亀城小、小高原、日高小、衣浦小、住吉小、かりがね小、平成小、富士松南小、富士松北小、富士松東小、小垣江小、双葉小、東刈谷小、朝日小） 給食費未納者（学校卒業生）全員に督促状を送付 送付件数 53件 (2,300,094円) 	<ul style="list-style-type: none"> 予定した大規模改修工事、便所改修工事、外壁改修、屋上防水改修を完了し、教育環境の向上を図ることができた。 施設の維持管理、更新にかかる費用の縮減や財政負担の平準を図るとともに、改修等の基本的な方針を示すことができた。 予定した全ての小学校への空調設備設置工事を完了し、教室の暑さ対策にかかる機能の強化による教育環境の向上を図ることができた。 未納者（学校卒業生）への督促状を一括送付することで、教員の負担軽減を図ることができた。
安全快適にスポーツ活動に取り組むことができる環境を整備します。	①スポーツ施設を最適に管理し、スポーツ活動の魅力の向上を図ります。	スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ウイングアリーナ刈谷メインアリーナの床改修等 ウェーブスタジアム刈谷陸上競技場3種公認の更新に伴う改修等 	<ul style="list-style-type: none"> 予定した床改修工事等を完了し、スポーツを行う環境の向上を図ることができた。また、陸上競技場3種公認の更新をすることができた。

(3) 市民から期待される先進的な市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
障害のある子どもたちのスムーズな学校生活への適応支援に努めます。	① 肢体不自由児童生徒、発達障害児童、情緒障害児童生徒への支援の充実に努めます。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・ H30. 4刈谷特別支援学校開校、在籍29名 ・ 肢体不自由児童生徒介助支援員 14名 ・ 支援補助員 32名 ・ 特別支援学級児童生徒支援補助員 23名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どものニーズに合わせ、開校及び配置をすることができた。
郷土の偉人を通じて郷土愛を育成します。	① 森三郎童話賞の子ども部門として市内小中学生から森三郎童話の読書感想文、創作作文を募集します。	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども部門応募数 3,719作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年々応募数は増加しており、森三郎氏が刈谷を代表する文化人の一人であることを次世代を担う子どもたちに伝えることができた。

(4) 市民参加、協働で問題解決を図る市役所づくり

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民、地域、様々な団体等との協働による取組を推進します。	① 保護者や地域の住民による教育支援を積極的に取り入れます。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全小中学校で保護者や地域の方による体験活動等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との連携による教育支援を積極的に取り入れることができた。
	② 中学校の部活動に外部指導者を雇用して、地域社会との連携と共に部活動の活性化を図ります。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて適切に配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちに専門的な技術指導を行い、教員の部活動指導における負担を減らすことができた。
	③ 学校司書を配置して、学校図書館の機能を充実させ、児童生徒の読書量及び質の向上を図ります。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館に学校司書を配置 3名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館の機能を充実させることができた。
	④ 青年が様々な体験や交流活動の機会を通して、自主性、社会性を育む環境づくりに努めます。	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民活動団体と連携した事業 3事業（成人式実行委員会、青年学級、子ども・若者支援） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年の自主的な活動の支援を通じて、若者の社会参加の促進を図ることができた。
	⑤ 地域の方々の参画を得て、キッズクラブや放課後子ども教室等による居場所づくりなど、家庭、学校及び地域が一体となってハツラツとした子どもを育む環境づくりを推進します。	生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後等の居場所づくり 19箇所 ・ ハツラツかりやっ子育成支援事業数 2事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域と連携し、子どもを安心・安全のもと、健やかに育む環境づくりを進めることができた。
	⑥ 地域住民主体の総合型地域スポーツクラブの活動を支援します。	スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合型地域スポーツクラブ研究会の開催 年6回 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究会の開催によるクラブ間の定期的な情報共有や意見交換、研究会での協議を基にした講習会（参加者数29名）や卓球交流会（参加者数73名）等の開催などにより、各クラブの活動の充実やクラブスタッフの資質の向上等を図ることが出来た。

組織目標	取組内容	課等	実績	成果
市民、地域、様々な団体等との協働による取組を推進します。	⑦ホームタウンパートナーチームとの連携した活動の検討・実施をします。	スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> 各チームと市の連絡会開催 年3回 ホームタウンパートナーチームとの連携によるスポーツ教室の開催 2回 延べ 237人参加 ホームタウンパートナーチームとの連携によるホームゲーム観戦機会の充実 8試合 延べ385人観戦 	<ul style="list-style-type: none"> パートナーチームとの協働により、中学校部活動部員等に、選手やチームと触れ合う機会を数多く提供することができた。また、特に教室参加者からは、意欲的な意見が多く寄せられるなど、競技意欲の向上が図られ、ジュニア世代の育成に一定の成果を得ることができた。